



受賞の報告に市役所を訪れたメンバー

3/18(火)

水源林業研究グループが農林水産大臣賞受賞を報告

平成 19 年度全国林業研究グループコンクールで、菊池市の水源林業研究グループ（宮本廣親会長）が、最高賞である農林水産大臣賞を受賞しました。

この度のコンクールでは九州の代表として出場され、台風にも強いスギ品種「リュウノヒゲ」苗木生産への取り組みや、地元水源小学校でのシイタケ栽培の指導、ふるさと水源交流館との連携による国際ボランティアの受け入れなどの活動が高く評価されたものです。

水源林業研究グループの皆さんによる今後の林業の振興、さらには地域づくりのリーダーとしての活動が期待されます。

3/14(金)

築地井手管理委員会が銀杏の木3本を寄付

築地井手管理委員会（山口弘委員長）の委員 11 人から、銀杏の木 3 本が菊池市に寄付されました。雨の中、市が管理する築地市有地の一角に関係者によって植えられました。寄付、ありがとうございました。

築地井手は隈府の街中を通り、七城町加恵までの全長約 12km あり、約 400 年前に造られたものです。築地堰を取水口とし、菊池平野一帯の 102ha を潤しています。



築地市有地で植付作業をする関係者

3/23(日)

第31回熊本県ブラック&ホワイトショウおよび第6回オール九州ブラック&ホワイトショウ

大津町にある熊本県家畜市場で、熊本県ブラック & ホワイトショウおよびオール九州ブラック & ホワイトショウがありました。九州各県から約 200 頭、菊池市からは 35 頭が出品され、各部に分かれ審査が行われました。それぞれで各部門首席を受賞された皆さん、受賞おめでとうございます。結果は、次のとおりです。（敬称略）

- 第 4 部（16 カ月以上 18 カ月未満）バレーリパルベンレッドマン REDET（中村雅貴・泗水）
- 第 5 部（18 カ月以上 20 カ月未満）MVP エルトンセトームキューティーハニー（迫昭一郎・菊池）
- 第 7 部（2 歳クラス）UK ドリームアスター（内田恵助・泗水）



自信があります。おいしいです。熊本県産の牛肉
 菊池市は、西日本一の酪農地帯です。現在、酪農家は飼料高騰の影響で、たいへん厳しい状況にあります。皆さんの牛乳消費拡大へのご協力をお願いします。また、菊池産牛肉の消費拡大へのご協力もお願いします。

3/15(土)・16(日)

第37回菊池郡市中学生新人野球大会



優勝した大津中学校

菊池ロータリークラブ協賛の菊池郡市中学生新人野球大会が菊池市多目的グラウンドで行われ、菊池郡市の中学校 12 チーム（240 人）が参加し、熱戦が繰り広げられました。大会は、大津中学校が大津北中学校を下し優勝しました。また、菊池ロータリークラブより優秀選手賞・参加賞などの協賛があり、一段とレベルアップした大会となりました。上位の結果は次のとおりです。（敬称略）

- 優勝 大津中学校
- 2 位 大津北中学校
- 3 位 菊池北中学校、武蔵ヶ丘中学校
- 優秀選手賞（ベスト 4 のチームから一人ずつ選出） 嶋田将人（大津中）、田村昌宗（大津北中）、松本有輝也（菊池北中）、梶田雅人（武蔵ヶ丘中）

3/25(火)

平成19年度熊本県社会福祉功労者および団体等知事表彰



受賞の報告に市役所を訪れた皆さん

熊本県社会福祉功労者および団体等知事表彰が行なわれ、福村市長より表彰状などの伝達が行なわれました。菊池市からは、3 期 9 年以上民生委員児童委員を務められた、中島アヤ子さん（9 年・㊦ 横町）、神谷八郎さん（9 年・㊦ 菊池平野）、中村妙子さん（15 年・㊦ 加恵）、山本大子さん（9 年・㊦ 桜山八）、青木睦子さん（9 年・㊦ 桜山四）、林田満春さん（9 年・㊦ 福本二）、内田ミヨ子さん（15 年・㊦ 上高江）、中村住子さん（9 年・㊦ 富出分）、木下秀子さん（9 年・㊦ 富の原一）と、18 年以上視覚障害者の読書環境の充実のため朗読ボランティアを続けられている、山下一恵さん（㊦ 藤田）、および万華灯や「わいふ御所通り邸」の整備など、地域づくりボランティア活動を行なっている、菊池まちづくり千年の風（山田純一代表）の 10 人の個人と 1 団体が表彰されました。

この表彰は、社会福祉の向上に特に著しい功績のあった人および団体に対し行なわれるもので、受賞された皆さんの長年の活動が評価されたものです。受賞おめでとうございます。

3/22(土)

「生涯現役元気村のまちづくり」～西米良村長講演～

菊池の歴史や文化を楽しく学ぶ「きくち楽習大学」の特別編（菊池都市間交流の会主催、市国際交流課事務局）が、姉妹都市の宮崎県西米良村でありました。

「生涯現役元気村のまちづくり」について黒木定蔵西米良村長が講演。菊池一族の米良入山の歴史など、「質素倹約、礼節、郷土愛の菊池精神」が村民に受け継がれ、西米良村における教育、まちづくりの基本となっていることを学びました。合併しない宮崎県内最少人口の西米良村で、一流の講師を招いての村おこしの勉強や時間・経費・効果などを村民が多角面から思案してイベントを成功させていることに、受講者全員感動していました。

また、「西米良村語り部の会」による昔話の披露や、同村の小学 3 年生の「語り部」の学習について紹介がありました。エドヒガン桜が開花する西米良村の山並みに心おだやかな春の一日を感じながら楽しい学習ができました。



黒木村長の講演を熱心に聴く受講生